



年頭のご挨拶

ハイサイグススーヨー イーソーグワチデービル

(新年、明けましておめでとございます。)

県民の皆さまには、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」や第7回「山の日」全国大会など国際・国内イベントを通して、沖縄の自然、歴史、文化などを国内外に発信することができました。一方で、台風6号により大きな被害が発生した年でもありました。災害に際しまして、国内外の皆さまから多くの温かいご支援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

令和6年度は、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画(前期)」の最終年度となり、施策などの成果の発現が求められる重要な年です。

このため、変化する社会情勢や県民ニーズを的確にとらえながら、自立的発展と住民が豊かさを実感できる社会の実現を目標とする「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の取組を加速させ、誇りある豊かな沖縄の未来につなげてまいります。

また、長期に及んだ新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しの動きが見られるものの、物価高騰による影響が懸念されている県民生活や経済活動、少子化・子どもの貧困問題など昨今の社会課題を踏まえ、「自立型経済の構築」、「子ども・若者・女性支援施策の更なる充実」、「辺野古新基地建設反対・米軍基地問題」の3つを県政の重要課題と位置付け、重点的に取り組んでまいります。

子ども・若者・女性及び高齢者支援施策について、その充実に向けて組織・体制強化を図ってまいります。

まず、子どもの貧困対策を「県政の最重要課題」に位置付け、「子どもの権利尊重条例」が目指す子どもの権利ファーストの理念の下、次代を担う全ての子どもが健やかに成長することができるとともに、社会の実現を目指し、支援を必要とする子どもにも必要な支援が行き届くよう、子ども施策の充実に努めてまいります。あわせて、困難を抱える子ども・若者についても、さまざまな相談に応じ、関係機関と連携の上、必要な情報の提供や助言を行うなど、育成支援を継続的に実施してまいります。

また、女性があらゆる分野で持てる力を十分に発揮できるような環境づくりに

取り組むとともに、本年4月に施行される「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、女性の福祉の増進などの充実に取り組んでまいります。

そして、高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりに向けて、保健医療と介護の連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築などに取り組めます。

以上のとおり、県民のライフステージに即した切れ目のない、個々の状況に対応した総合的な施策を実施してまいります。

米軍基地問題については、県内外の皆さまに正確な情報に接し、理解していただけるよう、情報発信の取組を強化してきました。また、この問題解決の議論を醸成させ、国民の皆さまに自分ごととして考えていただけるよう、県内外各地でシンポジウムやトークセッションを実施してまいります。

本年も、過重な基地負担の軽減が図られるよう各種の施策を実施してまいります。

そして、我が国とアジア諸国・地域を結ぶ拠点として発展し得る沖縄独自の優位性を効果的に活用し、潜在力を顕在化させるとともに、アジア・太平洋地域の平和構築と相互発展に向けて沖縄県が積極的な役割を果たすため、さまざまな分野における地域外交の取組を戦略的に展開してまいります。

平和で誇りある豊かさ「新時代沖縄」を更にその先へ進め、誰もが輝き、誰もが尊重され、そして誰もが希望のうちに喜びを見つめることが当たり前の実現する島、幸福が真に実感できる沖縄を目指し、全身全霊で取り組んでまいります。県民の皆さまには、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が皆さまにとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたします。まして新年のご挨拶といたします。

クトウシン ユタサルグトウ ウニゲーサビラ

(今年もよろしくお願いたします。)

令和六年 一月 一日

沖縄県知事 玉城 デニー